

温かく熱い思いが詰まった大学生の地域活動 ～文教大学東京あだちキャンパス視察～

主に梅田など中部地域を担当する民生・児童委員の皆さんが、花畑にある文教大学で視察研修を実施しました。今回のテーマは「足立区を知ろう!」。大学を見学し、学生の地域活動について話を聞きます。

話を聞いたのは、近隣の方々に安心できる居場所と心のこもったご飯を提供する子ども食堂「ぶんこ食堂」、花畑団地を中心に地域に貢献する活動を行う「海津ゼミ足立班」。どちらも住民や他団体との対話や連携を大切にしており、地域との繋がり的重要性を熱く語ってくれました。



「交流により子どもたちの未来の選択肢を増やすサポートをしたい」。ぶんこ食堂は、学生ならではの温かい思いが詰まった活動を展開しています。



海津ゼミの発表では「学生に手伝ってほしいこと」「地域で一緒にやりたいこと」をテーマに意見交換。学生が民生委員の声を聞いて回ります。



記念撮影。研修実行委員会の名取委員長は「大学ができて地域に良い変化があった。足立区がさらに発展するきっかけになれば」と語ります。

取材日 : 令和5年11月16日 参加者数 : 59名

取材メモ : 民生委員と学生の皆さんが地域への思いを共有する素敵な場面に立ち会い、社協職員として心を大きく動かされました。(足立社協 中部地区担当)

問合せ先 : 地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374